

平成 25 年 3 月 1 日

消費生活用製品の重大製品事故に係る公表について

消費生活用製品安全法第 35 条第 1 項の規定に基づき報告のあった重大製品事故について、以下のとおり公表します。

1. ガス機器・石油機器に関する事故 10 件  
(うち石油ストーブ(開放式) 3 件、  
ガスふろがま用バーナー(LPG 用) 1 件、石油給湯機 1 件、  
石油ふろがま 1 件、石油温風暖房機(開放式) 1 件、  
ガスこんろ(LPG 用) 1 件、石油温風暖房機(密閉式) 1 件、  
ガスボンベ 1 件)
2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、  
製品起因が疑われる事故 3 件  
(うち電気温風機(セラミックファンヒーター) 1 件、  
電気ストーブ(ハロゲンヒーター) 1 件、  
電気ストーブ(カーボンヒーター) 1 件)
3. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、  
製品起因か否かが特定できていない事故 7 件  
(うち電気洗濯機 1 件、電気ストーブ 1 件、ユニットバス 1 件、  
電気式床暖房 1 件、電気冷蔵庫 1 件、雪上自転車 1 件、  
折りたたみ椅子(脚立兼用) 1 件)
4. 製品起因による事故ではないと考えられ、今後、製品事故情報専門調査会及び第三者委員会合同会議(※)において、審議を予定している案件  
該当案件無し

1. ~ 4. の詳細は別紙のとおりです。

※正式名称は「消費者安全調査委員会製品事故情報専門調査会及び消費経済審議会製品安全部会製品事故判定第三者委員会合同会議」という。

5. 留意事項

これらは消費生活用製品安全法第 35 条第 1 項の規定に基づく報告内容の概要であり、現時点において、調査等により事実関係が確認されたものではなく、事故原因等に関し、消費者庁として評価を行ったものではありません。

本公表内容については、速報段階のものであり、今後の追加情報、事故調査の進展等により、変更又は削除される可能性があります。

## 6. 特記事項

### (1) 株式会社世田谷製作所が製造したガスふろがま用バーナー（LPガス用）について (管理番号A201200949)

#### ① 事故事象について

株式会社世田谷製作所が製造したガスふろがま用バーナー（LPガス用）を使用中、異音に気付き確認すると、当該製品を焼損する火災が発生していた。

当該事故の原因は、現在、調査中ですが、当該製品内の部品の設計の不具合により、ガバナ部（整圧器）のダイヤフラム（ガスの供給圧力の変動に応じて動く弁）に亀裂が生じて機器内部でガス漏れが発生し、漏れたガスにバーナーの炎が引火し、出火に至ったものと考えられます。

#### ② 再発防止策について

同社は、当該製品を含む対象機種（下記③）について、平成19年4月19日からホームページによる告知とともに、使用者へのダイレクトメールの送付や電話連絡等によりこれまで継続的に注意喚起を行い、OEM製品を含む対象製品について無償点検・部品交換（ガバナ部（整圧器）等）を実施しています。

#### ③ 対象製品等：会社名、機種・型式、製造期間

会社名	機種・型式	製造期間
(株)世田谷製作所	R38B R137B CS31B CS32B CS33B FE15 TA-097UET TA-270UET TA-OK270UET GS-1	1998年5月～2006年5月 1997年6月～2006年5月 1998年6月～1998年8月 1998年10月～2006年4月 2001年5月～2001年6月 2000年4月～2006年5月 1997年9月～2006年5月 1997年8月～2006年5月 1997年8月～2006年5月 2000年11月～2005年11月
(株)オカキン	OK-AR型-LE OK-BR型-LE	1997年11月～2006年8月 1997年11月～2006年7月
東京ガス(株)	ST-913RFA ST-912RFBシリーズ ST-9150CFS	1997年6月～2006年5月 1998年5月～2006年5月 1999年10月～2006年5月
(株)ハーマン	YF702	1997年6月～2002年2月

※ 対象製品には、株式会社世田谷製作所のガスふろがま用バーナーを組み込んだガスふろがまを製造している株式会社オカキンと、株式会社世田谷製作所からバーナー付ふろがまのOEM供給を受け、販売している東京ガス株式会社及び株式会社ハーマンの製品があります。

改修対象台数

39,337台

改修率

72.1%（平成24年9月30日現在）

対象製品の確認方法：浴室内に下記リモコンのどちらかが設置されている場合は、上記対象表の機種・型式、製造期間が該当していないか御確認ください。



※ GS-1のストーブは除きます。

#### ④消費者への注意喚起

対象製品をお持ちで、まだ製造事業者等の行う無償点検・部品交換を受けていない方は、速やかに下記問合せ先まで御連絡ください。

(株式会社世田谷製作所の問合せ先)

電話番号：0120-634-126

受付時間：9時～17時（平日のみ。）

ホームページ：<http://www.setagaya-seisakusyo.co.jp/cgi-bin/pdfdata/20081211220036.pdf>

(株式会社オカキンの問合せ先)

電話番号：0120-581-126

受付時間：9時～19時（日・祝日を除く。）

ホームページ：<http://www.okakin.com/news/0.html>

(東京ガス株式会社の問合せ先)

電話番号：0120-133-278

受付時間：9時～19時（月～土）

9時～17時（日・祝日）

ホームページ：<http://www.tokyo-gas.co.jp/Press/20070418-03.html>

(株式会社ハーマンの問合せ先)

電話番号：0120-248-772

受付時間：9時～17時30分（平日のみ。）

ホームページ：<http://www.harman.co.jp/important/jisyutenken/2007/04/post-14.html>

サンクン  
 (2) 燦坤日本電器株式会社が輸入した電気ストーブ（カーボンヒーター）について  
 （管理番号A201200960）

① 事故事象について

店舗で燦坤日本電器株式会社が輸入した電気ストーブ（カーボンヒーター）を使用  
 中、当該製品から出火する火災が発生し、当該製品を焼損しました。当該事故の原因  
 は、現在、調査中です。

② 当該製品のリコール（製品回収・返金）について

同社は、当該製品を含む対象機種（下記③）について、当該製品の強弱切り替えス  
 イッチに使用されているダイオードが不良品であったことにより、ダイオードが異常  
 発熱し、火災に至るおそれがあることから、事故の再発防止を図るため、平成19年  
 8月7日、平成20年4月21日及び平成23年2月10日にホームページへ情報掲  
 載し、また、平成24年2月に新聞社告を掲載するとともに、販売店においてポスタ  
 ー掲示、ダイレクトメールの送付により呼び掛けを行い、対象製品について回収・返  
 金を実施しています。

また、平成20年4月21日にリコールし、既に代替品として交換したUHC-3  
 Tについても返金対応を実施しています。

なお、今般報告のあった当該事故（管理番号A201200960）がこのような事象による  
 ものかどうかは現時点では不明です。

③ 対象製品等：製品名、機種、表示製造年、回収対象台数

製品名	機種	表示製造年	回収対象台数
電気ストーブ （カーボンヒ ーター）	UHC-3T （色：ベージュ） ブランド名：EUPA（ユーパ）	2009年製 2008年製	16,269台
	UHC-9T （色：ブルー） ブランド名：EUPA（ユーパ）	2007年製	10,303台
	TSK-5328CT ブランド名： EUPA（ユーパ）	2007年製 2006年製 2005年製	29,131台
	TSK-5328CRI	2006年製 2005年製	882台
	TSK-5328CRI（BW） ※販売元：株式会社バルス	2005年製	486台
電気ストーブ （ハロゲンヒ ーター）	FS-900T ※販売元：株式会社フィフティ	2007年製 2006年製	15,593台
合 計			72,664台

回収率

10.7%（平成25年1月31日現在）

## 対象製品の外観及び確認方法

### 1) 対象製品の外観



(写真はUHC-9T)

### 2) 対象製品の確認方法：当該製品の裏面の型番を確認してください。



### ④消費者への注意喚起

対象製品をお持ちで、まだ事業者の行う製品回収を受けていない方は、直ちに使用を中止し、速やかに下記問合せ先まで御連絡ください。

(燦坤日本電器株式会社 電気ストーブ（カーボンヒーター）回収交換ダイヤル)  
電話番号：0120-600-527  
受付時間：9時～17時（土・日・祝日、年末年始を除く。）  
ホームページ：[http://www.tsankuen.jp/tkj/jsp/tkj\\_web/TKJMain.jsp?id=2](http://www.tsankuen.jp/tkj/jsp/tkj_web/TKJMain.jsp?id=2)

### ⑤独立行政法人製品評価技術基盤機構（NITE）の対応

燦坤日本電器株式会社以外の事業者が製造・輸入・販売した電気ストーブ（カーボンヒーター）のリコール未対策品についても火災事故が発生しているため、独立行政法人製品評価技術基盤機構（NITE）においては、平成23年2月25日より事故防止のための注意喚起チラシ「電気ストーブのリコール製品をお持ちではありませんか？」をホームページに掲載し、消費者に対して、速やかに事業者に連絡を頂くよう呼び掛けを行っています。

(独立行政法人製品評価技術基盤機構（NITE）による注意喚起)

ホームページ：[http://www.nite.go.jp/jiko/leaflet/data/recall\\_denki\\_110225.pdf](http://www.nite.go.jp/jiko/leaflet/data/recall_denki_110225.pdf)

(本発表資料の問合せ先) 消費者庁消費者安全課  
(製品事故情報担当) 担 当 : 大木、長井、川船<sup>かわふね</sup>  
電 話 : 03-3507-9204 (直通)  
F A X : 03-3507-9290

(株式会社世田谷製作所が製造したガスふろがま用バーナー (LP  
ガス用) についての発表資料に関する問合せ先)  
経済産業省商務流通保安グループ製品安全課製品事故対策室  
担当 : 宮下、谷、山田 電 話 : 03-3501-1707 (直通)  
F A X : 03-3501-2805

<sup>サンクン</sup>  
(燦坤日本電器株式会社が輸入した電気ストーブ (カーボンヒーター)  
一) についての発表資料に関する問合せ先)  
経済産業省商務流通保安グループ製品安全課製品事故対策室  
担当 : 宮下、古田、長沼 電 話 : 03-3501-1707 (直通)  
F A X : 03-3501-2805

1. ガス機器・石油機器に関する事故(製品起因か否かが特定できていない事故を含む)

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201200873	平成24年11月9日	平成25年2月5日	石油ストーブ(開放式)	SX-B180	株式会社コロナ	CO中毒 重傷1名	山小屋で当該製品を使用後、体調が悪くなり入院、一酸化炭素中毒と診断された。当該製品の使用状況を含め、現在、原因を調査中。	長野県	事業者が事故を認識したのは、2月4日
A201200949	平成25年2月14日	平成25年2月25日	ガスふろがま用バーナー(LPガス用)	TA-OK270	株式会社世田谷製作所	火災	当該製品を使用中、異音に気付き確認すると、当該製品を焼損する火災が発生していた。事故原因は、現在、調査中であるが、当該製品内の部品の設計の不具合により、ガバナ部(整圧器)のダイヤフラム(ガスの供給圧力の変動に応じて動く弁)に亀裂が生じて機器内部でガス漏れが発生し、漏れたガスにバーナーの炎が引火し、出火に至ったものと考えられる。	兵庫県	平成19年4月19日からリコールを実施(特記事項を参照) 改修率 72.1%
A201200950	平成25年2月14日	平成25年2月25日	石油ストーブ(開放式)	RX-2210Y	株式会社コロナ	火災 軽傷1名	当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生し、1名が負傷した。現在、原因を調査中。	岩手県	2月28日に消費者安全法の重大事故等として公表済
A201200951	平成25年2月15日	平成25年2月25日	石油給湯機	UIB-3100TX3(FF)	株式会社コロナ	火災	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。現在、原因を調査中。	北海道	製造から20年以上経過した製品 2月28日に消費者安全法の重大事故等として公表済
A201200952	平成25年2月11日	平成25年2月25日	石油ふろがま	CK-5	株式会社長府製作所	火災	当該製品を使用中、異音に気付き確認すると、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生していた。現在、原因を調査中。	京都府	製造から30年以上経過した製品
A201200953	平成25年2月8日	平成25年2月25日	石油温風暖房機(開放式)	FW-325S	ダイニチ工業株式会社	火災 重傷1名 軽傷1名	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生し、2名が負傷した。当該製品から出火したのか、他の要因も含め、現在、原因を調査中。	奈良県	
A201200957	平成25年2月8日	平成25年2月27日	石油ストーブ(開放式)	RCA-260	株式会社トヨミ	火災 重傷1名	集合住宅の1階を全焼、1棟を類焼等する火災が発生し、1名が火傷を負った。当該製品から出火したのか、他の要因も含め、現在、原因を調査中。	徳島県	2月28日に消費者安全法の重大事故等として公表済

## 1. ガス機器・石油機器に関する事故(製品起因か否かが特定できていない事故を含む)(続き)

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生日都道府県	備考
A201200959	平成25年2月16日	平成25年2月27日	ガスこんろ(LPガス用)	IC-S95F-L	パロマ工業株式会社 (現 株式会社パロマ)	火災	建物を全焼する火災が発生し、現場に当該製品があった。当該製品を使用したまま外出した状況を含め、現在、原因を調査中。	山口県	
A201200961	平成25年2月16日	平成25年2月27日	石油温風暖房機(密閉式)	FF-740S	株式会社コロナ	火災	当該製品を使用中、当該製品から出火する火災が発生し、当該製品及び周辺を焼損した。現在、原因を調査中。	北海道	
A201200963	平成25年2月17日	平成25年2月27日	ガスボンベ	CB-250-OR	岩谷産業株式会社	火災	他社製バーナーに当該製品をセットして使用中、バーナーと当該製品の接続部分から出火する火災が発生し、周辺を焼損した。現在、原因を調査中。	滋賀県	

## 2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因が疑われる事故

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生日都道府県	備考
A201200945	平成25年2月13日	平成25年2月25日	電気温風機(セラミックファンヒーター)	MS-F126TR	森田電工株式会社 (現 株式会社ユーイング) (輸入事業者)	火災	当該製品の電源を入れて就寝中、異音に気づき確認すると、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生していた。現在、原因を調査中。	埼玉県	
A201200956	平成25年2月11日	平成25年2月26日	電気ストーブ(ハロゲンヒーター)	SZH-1000R	自然株式会社 (輸入事業者)	火災	当該製品を使用中、当該製品から発煙し、当該製品の内部部品を焼損する火災が発生した。現在、原因を調査中。	千葉県	2月21日に消費者安全法の重大事故等として公表済
A201200960	平成25年2月20日	平成25年2月27日	電気ストーブ(カーボンヒーター)	UHC-9T	燦坤日本電器株式会社 (輸入事業者)	火災	店舗で当該製品を使用中、当該製品から出火する火災が発生し、当該製品を焼損した。現在、原因を調査中。	茨城県	平成23年2月10日からリコールを実施(特記事項を参照) 回収率 10.7% 2月28日に消費者安全法の重大事故等として公表済

### 3. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201200946	平成25年2月7日	平成25年2月25日	電気洗濯機	火災	当該製品を焼損する火災が発生した。当該製品から出火したのか、他の要因かも含め、現在、原因を調査中。	岡山県	
A201200947	平成25年2月14日	平成25年2月25日	電気ストーブ	火災	異臭に気付き確認すると、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生していた。当該製品から出火したのか、他の要因かも含め、現在、原因を調査中。	大阪府	2月28日に消費者安全法の重大事故等として公表済
A201200948	平成25年1月9日	平成25年2月25日	ユニットバス	重傷1名	当該製品浴槽内で転倒し、負傷した。浴槽を壁に固定するバックハンガー(止め具)が外れていた状況を含め、現在、原因を調査中。	福岡県	事業者が事故を認識したのは、2月14日
A201200954	平成25年1月1日	平成25年2月26日	電気式床暖房	火災	異臭に気付き確認すると、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生していた。当該製品から出火したのか、他の要因かも含め、現在、原因を調査中。	北海道	事業者が事故を認識したのは、1月1日報告書の提出期限を超過していることから、事業者に対し嚴重注意
A201200955	平成25年2月5日	平成25年2月26日	電気冷蔵庫	火災	建物を全焼する火災が発生し、現場に当該製品があった。当該製品から出火したのか、他の要因かも含め、現在、原因を調査中。	埼玉県	
A201200958	平成24年12月31日	平成25年2月27日	雪上自転車	重傷1名	当該製品で滑走中、転倒し、負傷した。フロントボードの芯材が破損しており、事故発生時の状況を含め、現在、原因を調査中。	新潟県	事業者が事故を認識したのは、2月2日報告書の提出期限を超過していることから、事業者に対し嚴重注意
A201200962	平成24年12月9日	平成25年2月27日	折りたたみ椅子(脚立兼用)	重傷1名	当該製品を使用中、バランスを崩して転倒し、負傷した。当該製品の使用状況を含め、現在、原因を調査中。	京都府	事業者が事故を認識したのは、2月18日

### 4. 製品起因による事故ではないと考えられ、今後、製品事故情報専門調査会及び第三者委員会合同会議において審議を予定している案件

該当案件無し